

2018年度 研究部会概要

部会名	サードワークプレイス研究部会
活動内容	サードワークプレイスビジネスは大手企業や外資の参入により成長期を迎えつつあります。当研究会では、サードワークプレイスを含んだ様々な場所での働き方を検討することで未来の働き方を追求していきます。 本年度は、都市圏(タッチダウン型)、郊外(地元型)、地方のサードワークプレイス等様々な形態での働き方の可能性を利用者の立場から研究します。 初回の研究会にて詳細の活動内容を討議し決定することを想定しています
計画概要	<ul style="list-style-type: none"> ・部会の開催：定例会は平成30年7月～平成31年3月、月1回開催(全8回) ・第1回研究部会：7月17日(火) 15:00～17:30 東京YWCA会館 (予定)
体制	<ul style="list-style-type: none"> ・研究部会長：シーエーシー 齋藤 学 ・研究副部会長：ユビキタスライフスタイル研究所 萩原 高行
対象者	サードワークプレイスに広く興味のある方を対象としますが、特に実際にリモートワークを行っている方、自ら行おうと考えている方の参加に期待します。あわせてワークプレイスサービス事業者の方に参加いただき、様々な利用の提案をしていただくことも期待しています。
問合わせ先	事務局：日本テレワーク協会 内山 明人 uchiyamaa@japan-telework.or.jp 03-5577-4572

部会名	第4次産業革命（インダストリー4.0）とテレワーク研究部会
テーマ名	第4次産業革命の進展にともなって求められる働き方改革の研究
活動内容	現在、AIやRPA、IoTのビジネスシーンへの活用が進み、いよいよ第4次産業革命が本格化しつつあります。オフィスワークについても単純作業はどんどんRPA化され、RPAの設定・メンテナンスなどより高度な業務への対応が求められています。当研究部会では、AIやRPA、IoTなどに先進的に取り組んでいる研究者や実務者に講演していただき、ディスカッションし、今後求められている働き方がどのようなものなのかを明確にしていきます。
計画概要	2017年7月～2018年3月 開催回数4回程度
体制	部会長：三浦拓馬（いわきテレワークセンター） アドバイザー：田名部元成（横浜国立大学教授） 事務局：今泉千明（日本テレワーク協会）
対象者	第4次産業革命とテレワークとの関連に興味がある方ならどなたでも
問合わせ先	今泉千明 imaizumic@japan-telework.or.jp 03-5577-4572

部会名	ライフコース多様化とテレワーク部会 (ライフコース=さまざまなライフイベントに遭遇する人生の道筋)
テーマ名	テレワークの推進と理解促進のための具体的方策の検討・研究
活動内容	<p>○テレワークは、多様なライフコースにおける多様なライフイベントと仕事との両立に有効である。育児・介護等による離職を防止し、休業・短時間勤務からフルタイム勤務への復帰をサポートして、企業とワーカーとのWin-Winの関係実現に貢献することができる。</p> <p>○昨年度は、「テレワークの推進と理解促進のための具体的方策の検討・研究」を主眼に、ワークスタイル変革の各種事例、メンバー企業の取組、障害を持った方のテレワーク実施事例、労務管理などについての講演や自治体・企業への訪問、ディスカッションを行うとともに、「テレワーク川柳」の公募・発表、冊子化実施など、活発な部会活動を行った。</p> <p>○今期は、変化著しいワークスタイルの様々な事例について更なる調査・検討を行うと共に、テレワークに関する労務管理・評価・コミュニケーション等についての研究、ダイバーシティとテレワーク（男女にわたり育児・介護・心身にハンディキャップを持った方々へのテレワークの広がり）の現状などについて研究を進め、テレワーク推進の課題や対策の更なる深掘りを行う。</p> <p>また、「テレワーク川柳」についても引き続き取り組むとともに、部会で得られた知見等を踏まえ、簡単な提言をまとめる。</p>
計画概要	<p>○研究項目（例）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ワークスタイル変革の各種事例（企業等の見学、講演等） 2. テレワークに関する労務管理・評価・コミュニケーション等についての研究 3. ダイバーシティとテレワーク（男女にわたり育児・介護・心身にハンディキャップを持った方々へのテレワークの広がり） 4. テレワーク川柳（公募・審査・ディスカッション） <p>○会合予定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・7月と9月～3月に1回/月、全8回開催 第1回：7月20日（金）14時30分～16時30分（東京YWCA会館） <p>○実施形態</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 企業訪問・講演・事例発表とディスカッション 2. 「テレワーク川柳」の公募・審査とディスカッション
体制	<p>部会長： 北村 有紀（NTTデータ）</p> <p>アドバイザー： 佐藤 百合子（国際女性教育振興会）</p> <p>事務局： 荒木 浩一（日本テレワーク協会）</p>
対象者	どなたでもご参加頂けます。
問い合わせ先	<p>日本テレワーク協会事務局 荒木浩一</p> <p>arakik@japan-telework.or.jp</p> <p>03-5577-4572</p>

部会名	テレワーク最新技術動向研究部会（略称：技術部会）
テーマ名	テレワーク関連の技術動向について
活動内容	テレワークを支えている ICT 技術について、技術動向や具体的な事例をユーザの視点で調査研究する。特に、商品化されたツールの形で、テレワークの先駆的企業で実際に使われている事例を取り上げて評価することで、これからテレワークを導入する企業にとっての参考となるように取り組む。
計画概要	2018 年度テーマ案：（テーマはメンバから募集します。） <ul style="list-style-type: none"> ・安全にファイルを持ち出す技術（第 1 回候補）、 ・ビジネスチャット、ロボットコミュニケーションなど。 （参考：2017 年度実施テーマ） ①「スマホによるテレワーク」 ②「テレワーク中の電話対応について」 ③「最新情報通信技術のテレワークへの応用」（web 会議の最新動向） ④「在席管理と勤務実態の把握」
体制	（部会長/日本テレワーク協会 鈴木達郎 事務局/同 鈴木達郎、大沢彰）
対象者	どなたでもご参加頂けます。
問合わせ先	日本テレワーク協会事務局 鈴木達郎、大沢彰 suzukit@japan-telework.or.jp oosawaa@japan-telework.or.jp 03-5577-4572

部会名	中小企業市場テレワーク普及・定着推進部会
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・テレワークや柔軟な働き方について、リソースが不足しがちな中小企業や地方自治体などが最適な活動に取り組めるような情報整備、市場作りのお手伝いをして「背中を押す」活動にします。 ・より複雑化する ICT 要素と ICT の浸透による“デジタルトランスフォーメーション”加速の現状を学び、テレワークとの連携性を整理します。中小企業などが早い段階で取り入れられるような分かりやすい情報共有を目指します。 ・ヒアリング・調査などを通じて現場の“リアルな課題”を把握し、違和感のない打ち手を考えます。実際にテレワーク活動に取り組む「受益者」（中小企業や地方自治体のユーザーや協力者など）、中小企業市場でビジネス展開をする ICT ベンダーや社労士、場所などの「提供者」、テレワーク協会などの「関係者」が利益を享受し継続した活動ができる基盤作りの一助となる活動をします。
計画概要	<ul style="list-style-type: none"> ・1 回/四半期程度の部会開催（対象：社労士、ICT ベンダーなど提供者） ・1 回/年を想定した共有イベント（対象：企業ユーザー）
体制	部会長：小国 幸司 事務局：池上 真輔
対象者	企業ユーザー、ICT ベンダー、社会保険労務士
問合わせ先	池上 真輔 TEL 03-5577-4572（日本テレワーク協会） E-mail ikegamis@japan-telework.or.jp